

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年6月23日

【評価実施概要】

事業所番号	1170900359
法人名	株式会社サンセット・シニアーズ
事業所名	グループホームれんげ荘
所在地	〒346-0016 埼玉県久喜市吉村1-35-13 (電 話) 0480-22-5333
評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年6月17日

【情報提供票より】(平成19年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 3人, 非常勤 9人, 常勤換算 5.3人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 2階建ての1階～2階部分
------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円		その他の経費(月額)	35,000円 + 実費	
敷 金	無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (120,000円)		有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円	
	夕食	500 円	おやつ	100 円	
	または1日当たり 円				

(4) 利用者の概要(平成20年12月20日現在)

利用者人数	7 名	男性	2 名	女性	5 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.86 歳	最低 61 歳	最高 91 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	優心会クリニック、本町歯科、秋谷病院、新白岡病院、久喜すずの木病院、白岡中央病院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、閑静な住宅街の木造2階建ての民家を2度増改築したホームであり、周囲の庭も植え込みが素晴らしい。共用空間は狭いが、室内は家庭的で、風通しや採光は良い。階段も狭く急勾配であるが、両側に手摺をつけるなど工夫がされている。事業所は訪問看護ステーション、訪問介護事業所、通所介護事業、居宅介護支援事業所を併設しており、職員も保健と介護の専門職がバランスよく配置され、多機能型グループホームに向け実践している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価による改善点や自己評価については、スタッフ会議や運営推進会議で理解を深め、内容について検討し、改善に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) スタッフ会議で自己評価について説明し、それぞれが適切な対応を行うように、ケアの振り返りをしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、グループホームの運営や現状、利用者の状況を報告し、戸外活動計画およびボランティア協力、防災対策等を議題に挙げ意見交換をしている。会議で取り上げた課題については実際に取り組んでおり、サービス向上に活かしている。また、利用者の高齢化・重度化に向けての検討もしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情相談窓口を設けたり、面会時には近況を報告し家族と話し合いながら、意見や不安を出しやすいように配慮している。家族からの意見や希望については、毎月実施している管理者会全体会議で改善に向けて検討し、運営に反映できるように努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区の小・中学校の体験学習を受け入れたり、運動会を見に行くなど地元との交流を図っている。なお、地域の一員として自治会に加入できるように働きかけている。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所は開設当初より、住み慣れた地域で安心して暮らせる、大家族的な支援を目指し、利用者の人格を尊重した暖かいサービスの提供を掲げている。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関やホール等に掲示し、管理者と職員は日常のケアに活かされるよう、きめ細かなケアプランを立て実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や買物時には近隣の方々と挨拶を交わしたり会話をしている。また、小中学校の体験学習の受け入れを行ったり、小学校の運動会を見に行くなどしている。	○	住宅街にあるので自治会等に参加することで、地域のお祭り等の行事や地域活動に参加したり、事業所の行事への参加を呼びかけるなどの交流を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価を実施する意義を理解している。自己評価においても、全職員で課題を見つけ話し合いの上、改善に向けた取り組みを行っている。また、外部評価も同様に取り組み改善に努めている。		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の状況報告や戸外活動計画へのボランティア協力、防災対策等について意見交換している。会議で取り上げた課題については実際に取り組みサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市の担当者や地域包括支援センターと密接に連携し、高齢者サービス等について指導や相談を受け、介護サービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	地元の利用者が多く面会が頻繁であるため、そのつど利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等を説明している。さらに毎月個々に便りを出し近況報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加時や家族の面会時に近況を話し合いながら、意見や苦情を出してもらえるように心がけている。また、苦情相談窓口を設置し、それらを運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事業所は1ユニットのため異動等はなく、新しい職員が入った場合は必ず馴染みの職員を配置するなど、利用者へのダメージを防ぐ努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修は毎月1回ずつ管理者および全職員を対象として実施し、スキルアップに努めているが、社外研修への参加が課題である。	○	事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できるように情報提供や勤務の配慮等が望まれる。また、研修報告を全職員に周知することで質の向上につながることを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現段階では挨拶程度の関係であるが、ボランティア情報や戸外活動などの情報交換を希望している状況である。	○	グループホーム協議会等に参加し、情報交換や勉強会に参加して、特に他法人の同業者と交流を深め、ネットワーク作りに努めることが望まれる。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居から本契約といった方法をとったり、食事のときに家族に同席してもらうなど、本人が安心してホームの雰囲気や職員に徐々に馴染めるよう支援し、サービス利用につなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者が人生の先輩であることを心得て、巻寿司やそば打ち等料理と一緒に作ったり、日々の生活を送る中で利用者と共に支えあう関係作りに努めている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、何気ない会話や小さなサイン、表情や行動から、個々の思いや意向を把握するよう努め、本人の希望を大切にして支援の方向を決めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の関わりを通して、利用者と家族の思いや意見を聴き、ケアプランに反映させている。また、職員は利用者の生活の中でみられる小さなサインも見逃さないように心がけている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎朝スタッフの申し送りから変化が生じた際は、職員ミーティングを行い、本人や家族との面談により現状に即した計画を作成している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況および希望等により、ショートステイの利用や、通院、送迎等の必要な支援を柔軟に行っている。また、訪問看護や介護のサポート体制も整えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医の往診や、定期的な受診支援等、適切な個別対応への支援に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方については、主治医との連携により、家族や本人の要望を尊重しながら、ホームとして対応し得るターミナルケアについて検討し、方針を共有するように努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の方々を人生の先輩として尊敬し、言葉遣い等、個々の誇りを損ねないよう留意している。記録類の管理は、守秘義務を励行し、取り扱いに配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らしについては、利用者のその日の体調に配慮し、食事や着替え等、その方のペースに合わせた支援をしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	宅配業者より食材を購入し、職員が調理、配膳、後片付けをしており、一部の利用者も食事の一連の作業と一緒に手伝っている。	○	ホールに献立表を掲示し、利用者が積極的に調理や食事の準備に参加し、食材に触れ、食事が楽しみになるような取り組みを期待したい。また、職員と一緒に食べる等の支援や、親しみを持てる地元の食材を採り入れるなどの工夫が望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3日は入浴できるようにしており、利用者個々の希望やペースに合わせて、入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や家族からの情報を得て、その人にあった趣味、洗濯物干しや部屋の清掃等の作業、買い物など得意とすることを活かした支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望と状態に応じ、散歩や買い物などに出かけるが、無理な場合は庭やテラスで外気浴をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	普通の家庭の玄関造りで、日中は鍵をかけず開放している。また、居室には鍵がなく利用者間で自由に入出りし楽しんでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署、近隣に声をかけて防災訓練を実施している。利用者には災害時に備え、夜間用のライト付き防災頭巾を準備している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	高齢者専門の宅配業者のメニュー、食材を利用し、食事や水分の摂取量はチェック表に記録し管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木造2階建ての民家を改修したホームのため共用空間が狭いものの、風通しと採光は素晴らしい。階段は幅が狭く傾斜がきついが、両手摺をつけるなど工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は仏壇や机、鏡台、本棚など使い慣れた馴染みのものを持ち込むことができ、本人が居心地良く過ごせるように配慮している。	○	民家の増改築により居室を増やしたために、居室間の格差がある。プライバシーが保てる独立した部屋が望まれる。